

## 第1回脊振町地域懇談会 議事録

日時：令和2年8月20日（木）14：00

場所：脊振交流センター2階 多目的会議室2-2

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 市長あいさつ
4. 委員紹介
5. 神埼市地域懇談会について

### 6. 議題

#### (1) 意見交換

#### ①新型コロナウイルス感染拡大防止のための新しい生活様式について

事務局：資料説明（省略）

委員：文化連盟の事業などが思うように進められない。どこでどう感染するか不安。コロナとうまく付き合って、事業を縮小せずに行きたい。

委員：民生委員の会議は控えている。  
民生委員の活動ができないので会議の議題がない。

委員：敬老会は挨拶のみ弁当の配布を予定している。また、お寺やお宮さんの各種行事は役員さんなど少人数で開催している。  
脊振を愛する会の活動の中で、役員会の会議でもイベントなどに来てほしいということは言いにくいという意見が出ており、イベントの開催チラシの配布などの周知活動がふさわしくない状況である。  
白木地区の紫陽花のPRについても、チラシなどでの告知をせず、NHKの番組内で取り上げてもらった。今後もイベント開催時は、特に屋内開催の際は気を付けたい。

委員：地域が衰退しないように考えていかなければならない。

委員：遠方に住む家族はお盆に帰省ができなかった。一人暮らしの方、特に女性の方がお子さんを孫に会うことができないので寂しい思いをされていると思う。民生委

員さんの訪問も注意して行っているが、以前より訪問回数が減っている。  
例えばうつ傾向の方は鬱がひどくなって自殺につながるかもしれない。自殺者された方の病歴、うつの病歴はわかるか。レセプト等で確認が出来ればうつ症状の方の支援ができるかと思う。

事務局：個別のレセプト医療情報の確認はできるが、精神状態が不安定な方の一律的な抽出はできない。ゲートキーパー養成講座について、計画では5回、主に団体向けの養成講座開催している。一般の方へはまだ行ってないのでこれから対応していきたい。

委員：現在第二波が出ている状況だと思うが、緊張感をもった対応が必要。

事務局：行事の見直しやり方の変更を考えていかなければいけないという話が出ている。  
神埼町の地域懇談会において、行事開催にあたり地区が二分されるという話があった。千代田町の地域懇談会では会合や公役などの対応がまちまちであった。また、区長さんなどの負担が大きくなっているという意見も出た。地区行事については、これまでの経緯や開催規模など様々だと思うので、まずは市へ相談してほしい。

委員：事業応援給付金の業種別と脊振町内の実績がわかれば教えてほしい。  
また、生活保護の申請件数が増えていないか。

事務局：対象事業者は市内1100あまりの業者が対象。業種別及び脊振町内の申請実績は承知していない。  
生活保護の申請件数については、数字を持ちあわせていない。

委員：コロナの関係で今年春のインフルエンザ感染者数が少なかったと聞くが、そのことで高齢者向けの予防接種助成の制度が廃止にならないか。

事務局：コロナ対策で例年より個人個人が予防行動をとっていたことがインフルエンザの感染者数減につながったのではないかという話もある。高齢者のインフルエンザ予防接種は法令に基づくものなので、現段階では例年通りと承知している。

委員：林業分野について、コロナで木材需要減少により木材価格が下落しているため、搬出に係る補助事業があると聞く。外国産材が入ってこない状況であるため、国産材は今はチャンスだと思う。

事務局：農業面でも流通減による価格減対応のコロナ対策国庫補助事業として、野菜・花卉・果樹栽培の面積に応じた次期作対策として交付金支給の情報がある。

委員：オリンピックの施設建設について国産材が大量に使われている。県産材では太良産の木材が使われていると聞く。木材のいい面をPRしていくことも大事。

委員：特に若い人の感染者、陽性者が多い傾向にあるので、症状がない人もPCR検査ができるようなことを取り組みはできないか。

事務局：現時点では、国全体でもまだ無症状の人が受けるような流れにはなっていない。

委員：神埼市の文化祭は中止になったが、市や町規模のゲートボールは開催される。老人が元気で動かないと地域も元気にならない。地域の活力がなくなる。老人の元気づくり事業が全てなくなってしまうことはよくないので、できる事業は進んで実施することが今後の対策の一つだと思う。

委員：テレビの健康体操について、高齢者の方はいつ放送されるかすぐ忘れるので、防災無線等で知らせてくれればと思う。

## 7. その他

委員：脊振庁舎の北側ガラス窓と調理実習室ガラス窓から西日が入りまぶしいので、カーテンなどの設置予定はあるか。  
二階の吹き抜けと通路の間のガラス手すり部分は、床と境目がないので高齢者が歩きにくいので配慮を。

委員：先日の全戸配布チラシで、ダムの付け替え道路の図面が配られていたが、これは正式なルートなのか。  
この道筋では、上流部に配慮されておらず、線長が長くなり、今よりアクセスが悪くなる。これでは過疎化が進むこととなり、人口減となってしまう。以前も区長会では本庁と支所を最短で結ぶ付け替え道路となるよう要望してきた経緯もある。上流部住民の意向は取られないのか。市も配られた線を決定線と理解しているのか。

委員：国会議員等に積極的により良いダム付け替え道路となるよう改善を強く積極的に要望を実施すべき。

## 8. 閉会